



福祉 と 防災

第5号 2023年7月発行



はっとり誠 無所属 46歳

逗子市議会議員(1期目)

総務常任委員会副委員長

議会運営委員会委員

議会報編集委員会委員

社会福祉士

防災士

市議会議員になって2年目になりました

令和4年3月に市議会議員になり、この4月から2年目となりました。議会にも慣れ、会派は引き続き「市政クラブ」に属し、先輩・同僚議員と連携をしながら、議員活動を進めています。あわせて24個の市民活動に関わりながら、街の課題解決に日々奔走しています。お困りごとなどがありましたら、お気軽にご相談ください。

JR東逗子駅周辺清掃を 逗子葉山高等学校が協力

年に数回有志と実施していた東逗子駅周辺の清掃活動に、この6月、逗子葉山高等学校の生徒そして教職員の皆様が、ご協力していただきました。今後も引き続きご協力をいただけるとのことです。次の清掃活動は9月を予定しております。



2023年4～6月 活動報告

- ✓ 地域活動協力 161件
 - ✓ ご相談 41件
 - ✓ 6月令和5年第2回定例会
- ※政務活動費使途報告

書籍購入 18,536円
 使用金額 計18,536円
 残金 221,464円

あなたの声をお寄せください。

■メール
info@hattorimakoto.com

■電話
080-5095-5763

「ふくしとぼうさい日記」

毎日の活動報告

noteで
毎日更新中
890日連続更新



TOPICS

①豪雨・台風の際に、適切な避難行動を！

これから豪雨・台風シーズンになります。逗子市の土砂災害・洪水ハザードマップをご確認いただき、必要な方は適切な避難行動をお願いいたします。風水害等早期避難所は5つの小学校と逗子アリーナに開設されます。避難行動は、①行政が設置する早期避難所、②知人親戚宅、③宿泊施設、④自宅などでの2F以上の垂直避難、です。



②特殊詐欺が増えています！ご注意を！

逗子警察署によると、令和5年1月1日から4月30日までの「特殊詐欺」発生件数は17件(前年同期比+13件)被害額約2,100万円(前年同期比+約1,400万円)とのことです。迷惑電話防止機能付き電話機を利用して、未然に防止しましょう。おかしいな？と思ったら110番を。



- ・葉山町と逗子市との生ごみ資源化処理施設の整備運営に関する事務委託に係る協議
- ・逗子市印鑑条例の一部改正
- ・逗子市職員の特殊勤務手当に関する条例及び逗子市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正
- ・逗子市市税条例の一部改正
- ・逗子市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理に関する条例の一部改正
- ・逗子市火災予防条例の一部改正
- ・令和5年度逗子市一般会計・介護保険事業特別会計補正予算

など、計20の議案が上程されました。

報告3件を除く、14の議案が可決、2つの議案(陳情)が不了承、葉山町と逗子市との生ごみ資源化処理施設の整備運営に関する事務委託に係る協議については継続審議となりました。

はっとりは、議決した14の議案とあわせ、不了承となった議案・継続審議となった議案についても妥当だと判断し、賛成いたしました。

第2回定例会におけるはっとり誠の一般質問と答弁のまとめ

食品ロスについて

Q、全国的に食品ロスの問題が大きくなっており、逗子市でも賞味期限切れの防災備蓄食料を毎年かなり廃棄している。フードバンクと連携するなど、食品ロスを少なくする取り組みができないか。

A、フードバンクと合意書を結び、ロスの内容に対応したい。この活動をする市民団体の応援をしながら、市としても進めたい。

市役所窓口での情報支援体制の整備について

Q、聴覚障がいのある方・難聴の方の支援のための音声と言語化するアプリを入れたタブレットの実証実験を行った。その結果とあわせて、今後の窓口での情報支援体制を強化できないか。

A、実証実験で効果が測定できた。市役所庁舎内と市内公共施設での導入については、7月中には方針を決めていく予定で検討をしたい。

風水害等早期避難所について

Q、豪雨や台風の時に開く風水害等早期避難所について、開設のタイミングを早期化し風雨が弱い段階で開くことや、市民への情報伝達体制を改善できないか。

A、豪雨前に最初に開いておく避難所を逗子アリーナとして準備をしていきたい。情報伝達も、防災行政無線や防犯防災メールだけではなく、SNSの活用を開始したい。

市イベントの一層のインクルーシブ化について

Q、花火大会などで、障がいのある方も参加できるための工夫が必要。市の開催するイベントで、インクルーシブの観点をもっと取り入れることができないか。

A、花火大会では、どなたでも花火を観覧できるスペースとして逗子アリーナと調整をしたい。今後も個々の状況に合わせた合理的配慮を可能な限り行っていきたい。